

平成23年11月発行

# 第23号

発行 有田川町議会  
発行責任者 議長 新家 弘  
住所 郵便番号 643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198  
FDP: <http://www.town.yakakawa.lg.jp/profile/gkakaho.html>

有田川町議会広報

# かわら版



平成23年度一般会計補正予算など	2～6
町長にもの申す	7～15
常任委員会視察・議会傍聴記	16～17

第3回有田川観光写真コンテスト 町議会議長賞  
「シャボン玉」  
提供：有田川町観光協会 撮影者：土井雅史氏

## 台風12号などの災害復旧費に 6億4,383万円

### 一般会計補正額

# 7億9,370万円

平成23年第3回定例会は、9月7日から21日までの日程で開催されました。本定例会には、平成23年度一般会計補正予算・特別会計補正予算・条例の制定・吉備中学

校校舎改築請負契約などの議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

また、平成22年度水道事業特別会計決算の議案も認定されました。

### ◎平成23年度一般会計補正予算

(単位：万円)

項 目	補 正 額	補正後の額	説 明
議 会 費	642	1億3,670	職員手当など
総 務 費	7,335	21億8,379	台風12号関連災害対策費など
民 生 費	△2,460	36億1,820	国民健康保険特別会計繰出金など
衛 生 費	101	13億3,057	簡易水道特別会計繰出金など
農林水産業費	5,215	18億1,461	林道新設改良費など
商 工 費	539	1億4,625	明恵峡温泉特別会計繰出金など
土 木 費	183	9億9,754	測量設計管理等委託料など
消 防 費	△348	8億9,405	職員手当など
教 育 費	1,213	23億6,756	青少年健全育成事業など
災 害 復 旧 費	6億4,383	6億5,635	農林業施設、公共土木施設復旧費
予 備 費	267	2,335	不測の事態に備えて
そ の 他	2,300	30億6,364	公債費、労働費、諸支出金
歳 出 合 計	7億9,370	172億3,261	



国道480号災害復旧作業中(川口地内)

### 一般会計補正予算質疑

**質問** 災害時における地元業者の役割は大きい。地元業者がいかに大切か。県発注の地元工事は地元の業者にさせるべきでないか。町長 地元業者が献身的

にいち早く土石など取り除いてくれた。協力がなければスムーズにいかなかった。町村会長として要望を受けている。知事に必ず伝えたい。

**質疑** 二川ダムの放水の仕方や堆積土をとってもらえるよう県へ働きかけられたい。

**町長** 県にダムの放水基準を見直すよう協議しているところである。堆積土は取ってもらえるよう強く要望していく。



二川ダム(二川地内)

**質疑** どんどんまつり予定地の河川敷が災害に遭い、まつりは開催できるのか。県にどのよう河川敷を復旧してもらえるのか。

**町長** どんどんまつりは開催する。川の流れが変わり駐車場の予定地に水

が流れている状態になっている。護岸が崩れない対策を県と協議していく。駐車場は、ミックテクキスタイルの下に駐車できる所があるのでそこで対応したい。



花の里河川公園(庄地内)

**質疑** 国道424号、修理川バイパス復旧工事の見通しはどうか。

**町長** 広範囲に山が動いていると聞く。短期間でいかなない。1年ぐらいかかるのではないかと聞いている。

**質疑** 土砂災害マップや水害に関するマップを各区へ配布してはどうか。  
**町長** 台風12号などで



国道424号修理川バイパス(修理川地内)

様々な教訓を得たので再度見直し、作っていきたい。

**質疑** 災害関連で7億1千万円あまりの予算を組んでいるが、激甚災害の指定を受けているのか。その場合の負担金はどうなるか。農地災害など地元負担金を先に納め、最終的に返還となるがそうなのか。

**建設課長** 激甚災害の指定を受けた。増高申請後でないとは確かなことは分からないが、農地で90%



古原ハッサク壟が浸かり流される(古原地内)

以上、農道など農業用施設で95%以上の補助率になると思う。町条例では農地の場合15%、農業用施設で10%の地元負担金となっている。実際の補助率が決まらないので入札前は町条例の負担率で納入いただき、補助率が決まり次第、差額は工事完了後に返還したい。

**質疑** 負担率が旧町の時より高くなった。小さい災害は町に報告されない状況にある。

**建設課長** 激甚災害指定を受けた場合、受益者の負担率を下げられないのか。

**建設課長** 災害が起こった翌日から災害現場を見に回っている。激甚災害に指定されたのはその後であり、現場で受益者に町の



河川堤が割られた二川河川公園(二川地内)

負担率を説明しているの  
で、それを今変えるのは  
難しい。  
【調査】 台風12号関連災害  
対策費の491万6千円  
の内訳はどうか。  
総務課長 花の里河川公  
園の堆積土や雑木の処理  
に79万8千円、水道管の  
破裂修復に9万2400  
円、二川河川公園のコン  
クリート舗装修復に91万

5千円。  
【子ども教育課長】 二川と  
栗生のプールに水を送る  
ポンプが水没し、ポンプ  
の修繕に71万円。  
産業課長 ふるさとふれ  
あいの丘の河川に面した  
場所の修復。遠井・久野  
原オートキャンプ場の路  
肩決壊などの修復。宿泊  
施設白馬、二川温泉、あ  
さぎりのポンプ修繕など

に240万円計上してい  
る。  
【調査】 定住奨励金20万円  
計上しているが、事業内  
訳の説明を求めらる。  
また今後もこの事業を  
続けられる見込みがある  
のか。  
町長 今後も続けていく  
予定である。  
総務課長 今回補正の20  
万円は、平成23年1月か  
ら3月に町内へ転入され  
た方個人で2人、世帯で  
1世帯ということで20万  
円計上している。  
【調査】 今回あさぎり周辺  
整備に対し多くの提言が  
あった。提言を受けてど  
のように取り組んでいく  
のか。  
町長 地元との共存共栄  
が大きな目的である。提  
言を重く受け止め、産業  
建設常任委員会の意見を  
尊重し、しっかり議論し  
ていきたい。

◎特別会計補正予算

(単位：万円)

項 目	補 正 額	補正後の額	説 明
国民健康保険事業	2,096	37億2,837	療養給付費等負担金返還金など
後期高齢者医療	53	6億5,519	広域連合過年度分返還金など
介護保険事業	2,522	24億2,209	償還金など
簡易水道事業	6,216	8億3,562	災害復旧費など
農業集落排水事業	294	3億0,311	田殿浄化センター修繕費など
かなや明恵峡温泉	310	1億2,458	修繕費など
その他特別会計	0	12億6,071	公共下水道事業ほか9事業会計
歳 出 合 計	1億1,419	93億2,167	

## 平成22年度 一般会計及び各特別会計の決算委員会を設置

**決算審査特別委員会**  
委員長 橋爪弘典  
副委員長 岡省吾  
委員 前勢利夫  
森本明  
中山進  
殿井堯

平成22年度一般会計及び各特別会計決算認定についての議案が提出され、この審査のため決算審査特別委員会を設置しました。

平成22年度水道事業特別会計決算については、今9月議会で認定されました。

その他の決算については、閉会中の継続審査とすることに決定されました。

### ◎財政健全化判断比率について

	有田川町の比率	早期健全化比率	財政再生基準	用語解説
実質赤字比率	—	13.22	20.00	一般会計における実質赤字の財政規模に対する割合。
連結実質赤字比率	—	18.22	35.00	町のすべての会計を合計して生じた赤字の財政規模に対する割合。
実質公債費比率	14.2	25.0	35.0	すべての会計における一般会計が負担する元利償還金の標準財政規模に対する割合。
将来負担比率	76.7	350.0	—	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合。

### その他の議案質疑

#### ◎条例の制定

##### 暴力団排除条例

町民から暴力団排除に資すると認められる情報を提供された場合、誰が対応してくれるのか。補導センターが警察官に  
出向してもらうのか。情報を受ける必要がある  
ではないか。

町広報で条例ができたことを知らせ、何かあれば担当者まで連絡してもらえよう掲載すべきでないか。

総務課長 総務課で対応し、各関係機関へ連絡していく。

〔簡答〕暴力団排除条例に「暴力団排除に関する施策を総合的に策定し」となっているが、この施策は作られているのか。仮に町民が情報を提供した場合、情報を提供した町民の安全性が守られるのか。

#### 総務課長 県条例で対応できない部分で、総合して作っていきたい。町民の安全を守るため秘密保持に努める。

〔簡答〕民間の温泉なら徹底して入れ墨を入れた方の入浴を排除している。構成員イコール入れ墨でないと思うが、温泉施設に「入れ墨者の入浴お断り」と掲示している以上はつきり入浴お断りとすればいい。

町長 弁護士と相談し、検討したい。

行政組織条例（部長制）

〔簡答〕部長制に移行することにより、なぜ意思決定の迅速化が図られるのか。

企画財政課長 町長などの決裁権限を部長級に下ろすことにより、迅速化が図られる。大きな政策ごとに課をまとめ、統括責任者を置くことにより、

今より少ない人数でより深く効率的な議論をすることができると考えている。

**【質疑】** 6級になる部長級は何人で新たに部長級の年間人件費、退職や共済負担金など含めて総額どのくらいの見通しか。

**【企画財政課長】** 現在給料表6級の部長級は2人で、機構改革後に9人となり、新たに7人が昇格する。その人件費は320から330万円程度上がってくると思う。

**【質疑】** 建設環境部とあるが建設課と環境衛生課を統合した理由は何か。

**【企画財政課長】** 環境衛生課は、水環境に関する施策が上下水道と密接に係わる。長期総合計画でも環境の保全と活用、循環型社会の構築、上下水道の整備も含まれているので吉備庁舎にまとめた。

**【質疑】** 国から行政組織はできるだけ簡素化がいいといわれているが、その

理由はなにか。

**【企画財政課長】** 組織を簡素化し、大きなかたまりとして各庁舎に配属すること、住民からみて分かりやすくなると認識している。人員の配分も効果的、柔軟的に行い、どこに力を注いで施策をやっていくかということも

分かりやすくなると思う。**【質疑】** 県内で部長制をやめた町村、市においてもやめていく自治体がある。こういう自治体の理由を把握されているか。

**【企画財政課長】** 県下では湯浅町、美浜町、上富田町、白浜町が過去において部長制を導入していた。やめた主な理由は、湯浅町は財政の健全化の一環だったと。美浜町は職員数が少なく必要性がないということ。白浜町は当時部長と課長の二階層になっており、課長と係長の再編として位置づけたと聞いている。この中で

職員数が有田川町と同じぐらいで平成18年に合併した白浜町は一つの係の事務量や人員が多くなり、支障が生じているので、平成24年度に機構改革を予定していると聞く。

**【質疑】** 機構改革は全職員を立ち上げらせることが大事だがそうなるか。

**【企画財政課長】** 職員一人ひとりの役割を考え、組織の活性化を図ることを目的のひとつと位置づけて進めていく。やりがいの持てる職場づくりが最も重要であると認識している。

**【質疑】** 部長制により効率化が図られるという答弁をされたが、二つないし三つの課があつて、その上に部長があるとすれば部長は何をするのか。ただ決裁印を押すだけでよい複雑にならないか。一課長が部長を兼ねてもうまく横の連絡が取れるのか。

**【企画財政課長】** 20数名で庁議など行なっていたが、大局的なことを決めることになっていなかった。そんな中で町長、副町長から経営会議を設置するようという中で出てきた。この数名で庁議を位置づけて大局的なことを意思決定し、迅速化する。部長はその課のことを把握しまとめていく役割がある。

#### ◎請負契約

吉備中学校校舎改築工事

12億2850万円

吉備中学校校舎改築電気設備工事

1億6616万円

吉備中学校校舎改築機械設備工事

1億7535万円

吉備中学校校舎改築新築工事

1億5382万円

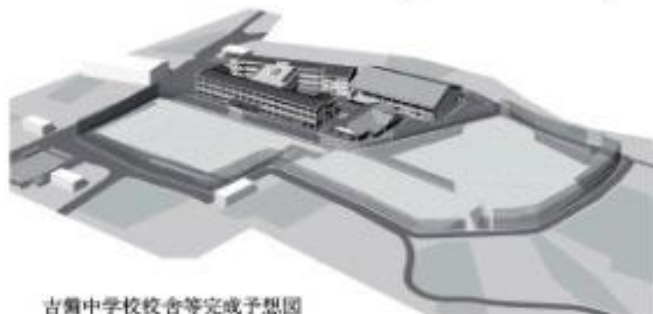
武道場の天井のつくりはどのようになって

いるか。

**【企画財政課長】** 体育館

ことも教育課長

体育館



吉備中学校校舎等完成予想図

のようにつくりでなく教室のようにつくりになっているが、地震がきても落ちない構造になっている。

#### ◎財産の取得

新金屋庁舎事務用備品

2159万円

移動図書館車両購入

1486万円

◎農業委員会委員の推薦

津本健良氏（杉野原）

# 町長にもの申す 一般質問

## 8議員が登壇しました



中山町長



山崎副町長



楠木教育長



武内企画財政課長



山田総務課長



福原産業課長



坂上こども教育課長



東下水道課長



前田消防長

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	前 勢 利 夫	1 台風12号の復旧対策は
2	佐々木裕哲	1 公共下水道（農業集落排水も含む）の加入、接続率向上のための推進策は 2 観光事業に対する町の取り組みは
3	殿 井 堯	1 将来の財政見通しは
4	竹 本 和 泰	1 住民サービスと行財政運営を問う
5	森 本 明	1 低成長時代の町政運営は 2 機構改革は
6	岡 省 吾	1 台風12号による今後の対策は
7	堀 江 眞 智 子	1 役場窓口の対応は 2 就学援助制度の充実を求める 3 災害対策の強化を
8	増 谷 憲	1 台風12号被害への支援策は 2 地域防災計画の見直しを 3 入札のあり方を問う



# 台風12号の対策は



## 前 勢 利 夫

### 豪雨がもたらした雨量は

**【問】** 台風12号は、紀伊半島、和歌山県・奈良県を中心に2439ミリという記録的な豪雨をもたらした。

**有田川流域の主な(400ミリ以上)観測地点の測定量はどうか。**

**町長** 上湯川902ミリ、下湯川708ミリ、川合637ミリ、板尾606ミリ、清水573ミリ、宇井若528ミリ、沼谷494ミリ、二川ダム467ミリ(いずれも8月30日〜9月4日の数値)

**【問】** 気象庁のアメダスをどのように活用されたのか。  
**町長** 気象庁のホームページから降雨量など最新情報を確認し、和歌山県のホームページからも有田川の水位情報、二川ダムの水位及び放水量などを確認している。

**【問】** 大雨・洪水注意報

の基準、同警報発令基準を示されたい。

**町長** 注意報は3時間雨量で60ミリ以上。

警報は3時間雨量で170ミリ以上。

土壌雨量指数が170以上。(土壌雨量指数は、降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土壌中にたまっている雨水の量を示す指数)

**【問】** 避難勧告及び避難指示の発令基準はどうか。

**町長** 勧告は、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった場合。

指示は、人的被害が発生する危険性が非常に高いと判断された場合(堤防の隣接地など地域の特性を考慮)。

### 台風による被害の全容は

**【問】** 被害調査の状況は。

**町長** 国道480号久野原地内、県道下湯川地内、中原地内、沼地内、町道沼

地内3ヶ所、室川地内、沼谷地内、林道川合地内、三瀬川地内、下湯川地内、宇井若地内、糸川地内が通行止め。

国道・県道で18件4億8千8百万円。有田川など河川で32件3億2千万円。

町道18件4億6千3百万円。河川27件1億2千2百万円。林道20件3億6千万円。農地、田63件、畑32件で9千4百万円。水路7件、ため池2件、農道4件、揚水機1件で7千4百万円。町計10億1千9百万円。

県・町総計で18億2千7百万円。なお、治山関係は現時点で把握できていない。

### 二川ダムの治水量は

**【問】** 二川ダムはどれだけの調整能力を発揮できたのか。

**町長** 県によると9月2日午前2時に流入量が1600tになり、午前3

時に毎秒1455tを放流。徳田観測所で最大6m66cmの水位となり、氾濫注意水位の6m60cmを超えた。金屋橋では、3日午後10時頃から氾濫水位5m90cmを越え、4日の午前4時に最大の7mに達する。その後は徐々に低下。

ダム設置後44年経過し、土砂堆積が60から70%といわれている。

今後、県に協議会の設置を働きかけたい。

### 復旧に全力を注げ

**【問】** 復旧対策の重点施策と財源確保について問う。

**町長** 通行止め道路の解消に全力を挙げるため、本会期中に補正予算を計上する。

また国に対して、激甚災害指定を求めた。

孤立集落も出現した教訓を生かし、山間部の集落対策に一層強力に取り組みたい。





## 将来の有田川町発展のために

佐々木 裕 哲

### 下水道普及の ための推進策は

**【質問】** 住民が安心して将来に向け生活していくための町づくり、そのためには道路整備、上下水道などのインフラ整備が行政に課せられた重要な課題だ。特に和歌山県、徳島県は下水道の普及率は最悪だ。

これは高速道や国道、県道整備と同じです。他府県では整備率が高い。これも和歌山県の衰退の要因だ。人口は昭和30年当時に戻ってしまった。東京の発展なくして日本の発展はあり得ないのと同じで、吉備地区の発展なくしてわが町の発展はない。吉備が発展すれば金屋や清水も必ずよくなる。そのためには下水道完備は必要だ。しかし、作っても活用しなければ快適生活と



吉備浄化槽沈殿池(下津野地内)

度で望んでいく。**下水道課長** 接続率の停滞と使用料の減収は財政面だけでなく、本来の下水道の目的とする効果も発揮できない。今後とも理解を得られるように努めたい。下水道法についての広報も考えている。

### 観光事業は地元と 共存、共栄できるのか

**【質問】** 町の活性化には観光事業は重要だ。しかしやり方を誤ると財政負担や民間業者を圧迫しかねない。

行政が行って成功した例は少ない。その原因は何か。十分考えて行動してほしい。今回、あさぎり周辺整備は約5億4千万円かけ新築するが、経営の見通し、そして地元と共存共栄

していきけるのか。

**町長** 行政が経営して成功しないのは行政ゆえの甘さもある。民間との共存共栄は民間業者の圧迫にならないよう十分配慮してやっていく。

行政も観光目的の施設に取り組まなければ、有田川町の持つ資源が生かされない。地元の協力があればこそ成功する。

**産業課長** 来客のための情報発信は今年、大阪3回、東京2回、名古屋2回などキャンペーンも行う予定であるし、観光案内などへ力を入れている。



清水守原本通り(清水地内)

## 将来を見据えた財政を問う



殿 井 堯

### 本年度予算に対する事業計画の進捗は

**【質問】** 平成23年度、156億円の莫大な予算でスタートした。

今後の町事業計画だが、現在の進捗状況を各担当課長より説明されたい。

**町長** 現在の事業計画の一つである新金屋庁舎が、今年11月中旬に完成する。その他の事業も着々と準備されている最中だが、今後の財政面では、国から提示を求められている様々な指標をもとに慎重に検討していく必要がある。

**総務課長** 新金屋庁舎は、11月末に完成し、12月中旬に引っ越しをする予定である。その後、旧庁舎を解体し、駐車場に借りている借地を整備し、平成24年度中に返還する予定になっている。

**消防課長** 新消防庁舎の進入路は平成23年1月より

着工し、完成している。また、6月より建設用地の造成工事を着工し、本年12月中旬に完成予定となっている。

新消防庁舎は、平成24年5月より建設工事がはじまり平成25年12月中旬に完成予定となっている。

町民の安全を守るため、より迅速に対応していきたいよう努めていきたい。

**こども教育課長** 現在の吉備中学校校舎は、極めて低い耐震性のため、子どもたちの安全性を重視し、新校舎を建設することになった。

現在、第一グラウンドの整備工事が着工中である。平成25年3月末までに、新校舎・体育館・武道場が完成予定になっている。その後、旧校舎を解体し、跡地に第二グラウンドの整備工事を着工する計画になっている。

**産業課長** あさぎり周辺の整備工事は、予算約5

億円余りで平成22年度から25年度までの継続事業である。

現在は体験棟・作業棟が着工したばかりである。今後、宿泊施設や他の体験棟の整備も予定している。

また町単独の事業として、周辺道路のつけ替えを行う予定である。

**【質問】** 町行政として、財政面において徹底的に無駄を省き、後世に借金を残さない体制を築いていかなければならない。有田川町は今後どのような体制で取り組むべきか。

**企画財政課長** 吉備中学校の事業予算約46億円のうち、国からの補助金は13、14億円の見込み、合併特例債を合わせても約30億円が町負担になる。

あさぎり周辺の整備工事は、活性化プロジェクト交付金事業・町づくり基金・合併特例債により財源をまかなう。

消防庁舎・新金屋庁舎は、財源のほとんどが合併特例債でおぎなわれる。

平成22年度で有田川町一般会計町債残高は229億7000万円程度。10年後の平成32年度の町債残高は160億円程度まで下がる見込みとなっている。

### 現在進行中の大型事業

事業名	予定事業費
新金屋庁舎改築	約6億円
消防施設整備	約15億7千万円
吉備中学校等改築	約45億3千万円
あさぎり周辺整備	約5億3千万円
合 計	約72億3千万円



## 住民サービスと行財政運営を問う

竹本 和泰

### 行政の効率化と住民サービスを

**【問】** 今回提案された行政組織の改正で、行政事務がスムーズに推進されるのか。住民サービスの低下を招くことはないか。金屋庁舎の総合業務課がなく、環境衛生課も吉備庁舎に移ることにしている。それらの対応と、庁舎の指揮命令系統がどのようになるのか。  
**【答】** 今後、職員数を減少させていく中で、できる限り行政サービスを低下させない改革としたい。新金屋庁舎は福祉保健部長が施設長を担い、また住民税務課分室を置き対応する。

**【問】** 地域住民の声や職員の声、業務内容など身近で聞くことは大事である。金屋庁舎・清水行政局へ町長、副町長は月に何回か庁舎に行くことにより、職員の意識も変わる

### 重要な行財政運営を

**【問】** 有田川町になる前の旧3町は、いずれも税金など自主財源だけでは町行政を運営できず、国からの交付税を主財源としていた。合併により、人件費など行政経費が減少することは当然であるが、その通常の行政経費

政運営の考えは。町長 合併算定替えの期限による交付税の削減は、大きな課題として認識している。しかし、現在の財政状況は、指標的にもそれほど悲観すべき状況ではない。

**【問】** 町監査委員より平成22年度各会計の審査意見で「財政構造の弾力性は維持されているとは認められない状況である」と述べている。今後10年間の財政見通しが示されたが、建設事業にしても現在の半分もできないという非常に厳しい状況である。町当局はどのような認識をしているのか。  
**【答】** 交付税の算定替えとなると、財政的に非常に厳しい認識をもっている。しかし、町民の要望に応えられるよう、様々な面で節約し、10年後の対応をしていきたい。

**【問】** 財政の硬直化は、不測の事態が生じない限り財政見通しの甘さが原因になる。町民に何ら責任はなく、財政が行き詰った場合の責任について、町長・副町長はどのような認識もりをされるのか。  
**【答】** 責任は重いものと考えている。

新たな行政組織図 (案)

古備庁舎	金屋庁舎	清水行政局
町長 副町長 総務課 財政課 民生課 福祉課 環境課 建設課 上下水道課	福祉保健部 福祉課 長寿支援課 住民税務部分室 産業振興部 産業課 商工課 地産課	清水行政局長 総務政策室 住民福祉室 生活環境整備室 産業振興室
議長 副議長 議会事務局 本部長 古備庁舎 清水庁舎	教育長 教育部 こども教育課 統括保育課 社会教育課	給食センター 子育て支援センター 各保育所

削減となる。合併して10年間は特例措置で猶予されているが、その後年10億円余りが減らされる。現状でも財政が硬直化しており、交付税が順次削減となる平成28年度までに財政構造をいかに弾力性あるものにするのか。

減らす分は交付税が削減となる。合併して10年間は特例措置で猶予されているが、その後年10億円余りが減らされる。現状でも財政が硬直化しており、交付税が順次削減となる平成28年度までに財政構造をいかに弾力性あるものにするのか。

## 低成長時代の町政運営を問う



森 本 明

### 町政運営の基本は

**質問** 円高、デフレ不況の中、3月には東日本大震災、県内では台風12号による大きな被害を受けた。このような現下の社会情勢を考えたとき、これからも低成長時代が長く続くことが予想される。今後の町政運営の基本姿勢は。

**町長** 財政的には厳しいものを感じている。行政改革のなお一層の充実を図り、今後も健全な町政運営に努める。

### 財源確保はどうする

**質問** 税の根幹を支える固定資産税は新築などで増収が見込まれるが、経済情勢を勘案すれば伸びが期待できない。歳入面はどのように考えているのか。

**企画財政課長** 固定資産

税は増収しており、法人税、住民税はゆるやかな減少をしており、タバコ税などの諸税で少し増収になる。

歳入全体は平成23年度より少しのプラスを予測している。

### 予算規模、新規事業はどうか

**質問** 平成24年度の予算規模、新規事業は。

**町長** 予算は平成23年度と同程度を考えている。新規事業は藤並学童クラブの建設を予定している。

### 町の雇用対策は

**質問** 新卒者の就職率が過去最低となっている。町としての雇用対策は。

**町長** 行政が行う雇用対策は企業誘致だと考える。しかし、大震災、原発、円高問題もあって、企業の外国流出が大きく報道されている昨今、難しい

と考えている。

町として基幹産業である農林業の発展に力を注ぎ、農家人口の減少に歯止めをかけ、将来増加に転じるよう、雇用につなげるとともに、インフラ整備に努め、人と事業所が集まりやすい環境整備に取り組んでいく。

### 地元活性化につなげるあさぎり再開発を

**質問** あさぎり周辺整備が、地元の発展と経営を左右する。ふるさと開発公社の経営にプラスになるような取り組みを期待する。

**町長** あさぎり周辺は、町内における観光の拠点であると考えている。

施設の老朽化が進み、耐震上問題もあり、再開発することになった。施設の運営は、ふるさと開発公社に指定管理をしているが、経営面でなお一層のコスト削減、サービ

### 金屋庁舎総合業務課の強化

**質問** 新年度から機構が変わるが、新金屋庁舎の戸籍関係、税務事務、町民からの要望などの窓口業務を受け持つ総合業務課のスタッフを強化されたい。

**町長** 窓口業務の位置づけや、事務分掌は、現在検討中だが、より良い行政サービスが提供できるようにしたい。



完成間近かな新金屋庁舎(中井原地内)



## 風水害から町民の生命を守る対策を

岡 省 吾

### 各主要道路（生活路線）の復旧見通しは

**質問** 去る9月4日未明にかけての台風12号による豪雨の爪痕は、紀伊半島にとってもない甚大な被害をもたらした。

有田川町においても特に清水地域の被害が凄まじく、道路網の寸断・橋梁の破損・家屋の損壊など大変な被害状況となっている。

このたびの台風被害において、通行止めになっている主要道路（生活路線）復旧の見通しはどうか。

**町長** 現在、主要道路の復旧・仮復旧工事に着手しているが、大崩落の場所もあり、かなりの工事期間が予想される。

国に早く激甚災害の指定を出していただき、査定を待って一日も早い復旧に努めたい。



通行止めになっている町道(沼地内)

### 二川ダム放流規定の見直しを

**質問** ダム放流による有田川の氾濫は、記録的な豪雨によるところにある。気象予報で台風の規模・進路・降雨量が予測できる状況の中、事前に予備放流をして有事に備えたいと住民の生命と財産を守れない。

**町長** ダム操作規定で予備放流水位の最低限度は187.6mとなっている。今回の教訓を踏まえ、最低水位の181mに近づける予備放流を積極的に行うことや放流に関する通知の迅速化など、近

く県と協議に入り、強く働きかける。

### 浸水危険地域を示すマップ作成を

**質問** もう少し豪雨が続けば、家屋浸水の被害は想像以上にあつたと予想される。今回の雨量・放流量などのデータを集約し、危険地域の浸水シミュレーションを描き、緊急時の自主警戒に役立てられるよう防災マップの作成を。

**町長** 町民の迅速な避難活動につなげるために必要であり、浸水危険区域を想定したマップを早急に作成したい。



台風により氾濫する有田川(二川地内)

### 地域防災の拡充を

**質問** 消防団が非常にありがたい活躍をしていた。同時に地域自主防災組織の重要さを改めて痛感した。

今回のように避難誘導など緊急性が求められる場合は地域住民の連携なくしてはありえない。

さらなる自主防災組織の充実と拡大を。

**町長** このたびご活躍いただいた多くの皆さまに心から敬意と感謝を申し上げたい。今後も消防団はじめ、自主防災組織がより充実していくよう力を入れて取り組む。

地域によっては、戸数や人口減で自主防災組織が単独で組織できない地域もある。そういう地区には周辺地区で組んでもらい、全ての地域に組織が確立できるよう一層の努力を重ねたい。

## 命を守る災害対策を



堀江 眞智子

### 個別相談窓口を

**質問** 福祉課や税務課などの相談窓口を個別対応にしてはどうか。

**町長** 相談内容は個人的なプライバシーにかかわることと承知している。

清水行政局は相談のスペースを設けている。金屋は新庁舎で相談室を設置する計画である。古備庁舎も住民課横のスペースがある。早急に個別の相談室を整備する。

### 就学援助の手続き

**質問** 2005年度から就学援助の認定に際して「就学援助法施行令」の中で「民生委員の助言を求めることができる」という文言が削除され、全国の自治体で広く行われていた民生委員からの助言を求める法的根拠がなくなった。就学援助に民

生委員の意見書は必要なのではないか。

**教育長** 就学援助制度

は、経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して就学援助費を支給し、義務教育の円滑な実施を図ることを目的としている。周知については学校だよりや町の広報で知らせている。

民生委員の意見書については、教育委員会・児童民生委員とも協議をしながら研究する。

### 災害対策は

**質問** 台風12号は和歌山県に大災害をもたらした。9月3日から4日にかけての深夜、避難勧告が出され20地区1387名が18の避難場所へ避難された。しかし深夜避難また台風のため「雨戸を閉めていて、防災無線が聞こえなかった」「農電も聞こえなかった」と言う声

があった。勧告・指示合わせて23地区、対象人数

9103人対象世帯32

65世帯であったにもかかわらず対象の15%の人が避難していなかったのは深刻だ。深夜であったことが大きな要因だ。

早い時間からの台風に関する防災放送や避難場所の開設で、高齢者や子どもが安全に避難できるように対処されたい。

台風の時などは防災放送が聞こえにくい。各家庭への防災ラジオの整備や避難場所の見直しをされたい。

**町長** 今回の台風で初めて「避難勧告・指示」を出した。その中で様々な不備な点が新たに浮かんだ。避難場所への道が水没していた場所もあり早急に避難場所、避難勧告・指示の出す時期、避難場所への道などを検討する。避難所の開設は、住民から自主避難の要望

があれば早急に対応していく。防災無線放送は避難勧告発令時に実施した。

今後の対策は、避難勧告

発令前からの自主避難や防災無線での注意喚起などについて十分に検討の上、積極的に実施したいと考えている。防災無線についても何人かの方から「窓を閉めて寝ていたから聞こえなかった」という声を聞いた。不備な点が明らかになった。早急に防災体制を見直しなければならぬ。防災ラジオは100台備蓄している。必要な方には貸し出す。



防災無線受信機



# 災害復旧に全力を挙げ 減災対策の強化を

増 谷 憲

## 台風12号被害の 支援策を

**質問** 被害を受けた農作物への支援策を求めます。

**町長** 優先順位から交通網の復旧に重点をおきたい。融資制度など県や農協に要望させていただく。

**質問** 給水車の配備を求めます。

**町長** 給水車は必要であり、現在配備を検討中である。

**質問** 民家や畑に入った土砂や漂流物の撤去作業を支援する制度を求めます。

**町長** できるだけ個人でやってほしい。大災害には町もある程度責任をもってやらなければならぬ。

**質問** 固定資産税、国保税、住民税、医療費など減免制度の周知を。罹災証明が必要となるので相談窓口の設置を求めます。

**町長** 各制度があるので相談していただきたい。

今回に限って相談窓口を設置したい。

**質問** 過去に同じ場所で災害が起こっている場所の復旧工事は再び崩れないような工法でやっていただきたい。

**町長** 県は一回崩れたところは新たな方法で検討すると聞いている。



国道480号災害現場(川口地内)

## 地域防災計画の 見直しを

**質問** 避難所の見直しは地域と相談し、最短で安全に行けるルートの検討を求めます。

**町長** 避難場所、経路、時間などいろんなことが浮き彫りになった。総合

して見直したい。

**質問** 避難所で食料や寝具の備蓄はどうか。

**町長** 学校の体育館などに毛布、水、携帯食は配備している。

**質問** 避難勧告と避難指示の出す時期が遅かったのではないか。

**町長** 今後できるだけ早く情報をもらえれば勧告や指示を出せる。

**質問** 二川ダムの水位をさらに下げないように働きかけを求めます。

**町長** ダム事務所も見直すということであるので早急に働きかける。

**質問** 山の保水能力を高めるために広葉樹の整備を。また適切な間伐と倒木の撤去対策を求めます。

**町長** 広葉樹にかえることは様々な面で効果がある。広葉樹が植えられるよう働きかけていく。

放置されている間伐材はできるだけ出ししてもらえよう指導したい。

## 労務の提供の入札は 生活できる賃金設定を

**質問** 公共サービス基本法や千葉県野田市公契約条例の認識はどうか。

**町長** 公共サービスに従事する者の適正な労働条件の確保と労働環境の整備を行うものと認識している。条例の趣旨に賛同する。

**質問** 労務の遂行・提供が伴う入札は、入札条件に生計労働単価の基準をつくり守らせることや継続雇用の義務づけを求めます。

**町長** 労働の最低設計単価を今後取り入れるべきだと思っている。ただ安ければいいということであれば弊害も出てくる。職種により賃金水準は違うが、町が賃金の最低価格を決めたいと思っている。労働者の継続雇用は、長期継続契約を今後慎重に検討したい。

## 産業建設常任委員会視察

## 地域への思いや行政の協力が鍵

委員長 森谷信哉

去る8月25・26の両日、産業建設常任委員会で、長野県飯田市並びに岐阜県恵那市に視察研修を行いました。

## グリーンツーリズム

まず飯田市で飯田型グリーンツーリズムについて、公社の設立時からの経営状況並びに現在の運営状況について説明を聞きました。設立は2001年1月に飯田市・阿智村など1市4村と丁A南信州・新南交通をはじめ、10の地元企業・団体の出資により設立された体験観光による広域地域振興を目的とした第3セクターから始まり、現在は、1市3町10村と地元企業



南信州観光公社で説明を受ける

が1口5万円の出資を行い2965万円の資本金をもって運営。また地元の1000人を超える農家やインストラクターと連携をとり運営しています。設立当初3年は、赤字続きであったが失敗を繰り返す中での地元の農家や体験プログラムを運営していただけた方々との交流を深めて、地元の

協力度を強化し、体験旅行のターゲットを学生にして全体の90%以上を占めていることが、事業の成功の要因であったと話されました。

次に、遊休農地を活用して、お米の栽培をし、都市と農村との交流推進として体験教育旅行を行っている麻績地区に赴きました。そこでは麻績楽農隊の方から設立した動機や現在の活動状況などを伺いました。まだ設立されて日も浅いが、メンバーの意欲は高く、今後とも体験メニューを増やして、都市と農村の交流を図って、地域活力の強化につなげたいと話されました。

## 棚田サミットの効果

平成15年に全国棚田サミットを行った岐阜県恵那市の坂折棚田に行き、棚田サミットの運営時の苦勞並びに、棚田保全に

ついて視察しました。ここでは35戸の農家中、15戸の農家の方が棚田保存会を設立し、棚田オーナー制度を用いて棚田の利活用を行っていました。基本料金は100㎡で3万円に設定し、毎年50組の参加者を募集している。

参加者のリピーター率も高く、満足しているという感想も多く、棚田オーナー制度の導入により年々坂折棚田に訪れる方が増えたようです。また、地域の皆さんの棚田に関する意識が高まり、設立当初は坂折棚田保全会から現在はNPO法人恵那市坂折棚田保存会となり運営しています。また、小さい棚田を整備して約450の棚田を約350に整備し、景観の保全並びに農家の負担軽減も行っているようです。今回2カ所の場所で視



坂折棚田地内にある農産物販売所

察を行いました。が、なんといつてもその事業にかかわる人々の地域に対する思いや熱意並びに、リーダーを中心として行政の協力が不可欠であると感じました。いくら予算をかけても、その運営がずさんでは事業の成功はなく、事業の推進に大切なことは志を持つた人がいることを実感しました。また、広域連携を強めて、観光に取り組み重要性も改めて感じました。



## 身近なところで開かれている議会

### 議会傍聴記



石垣中学校3年生24人と先生2人が社会課授業の一環として傍聴に来られました。傍聴された生徒さんの中から3人の生徒さんに感想を寄せていただきました。

#### 議会見学をして

石垣中学校3年  
魚平佳那さん

私達は今日、町議会見学に行きました。私達が傍聴した議会は、台風12号の復旧対策、公共下水道、観光事業に対する町の取り組みでした。

初めに質問した議員さんは、すごく迫力がありました。台風12号については、私は興味があったので、これからどうするのか聞けてよかったです。下水道について、接続率がワースト2位だと聞いて驚きました。そして町が発達すれば地方も発達するという考えはたいへん参考になりました。発言する人はみんな発言時間内で話をまとめら

れていて、すごいと思いました。

今回、議会見学をして、はじめて知ることがたくさんありました。私達の町のことは、議員さん達が色々話し合っていて決められていくということがよく分かりました。

#### 地方自治

石垣中学校3年  
石井秀和さん

僕は、はじめて町議会を見学しました。まず目に入ったのが時計です。時計がカウントしていたのは議事の時間でびっくりしました。

もう一つ発見したのが机にペンを入れるくぼみがあったことです。面白かったです。

最初の質問は台風12号のことで話をしていた議員の声は、結構熱が入っていてすごかったです。中々強く、はきはきとした言い方で、たよりがいがありました。

町長さんは、みんなの意見を受けとめているのを見て、町長さんはすごくがんばっていると思いました。

今、社会科で地方自治の学習を行っている、首長である町長さんの役割や地方自治の仕組みが具体的に理解できました。有田川町に住む住民として、地方自治に関心をもって生活したいと思えます。

#### はじめての町議会見学

石垣中学校3年  
土山実可子さん

朝、学級で議会傍聴についての心得について説明を受けたあと、町議会

を見学しに行きました。

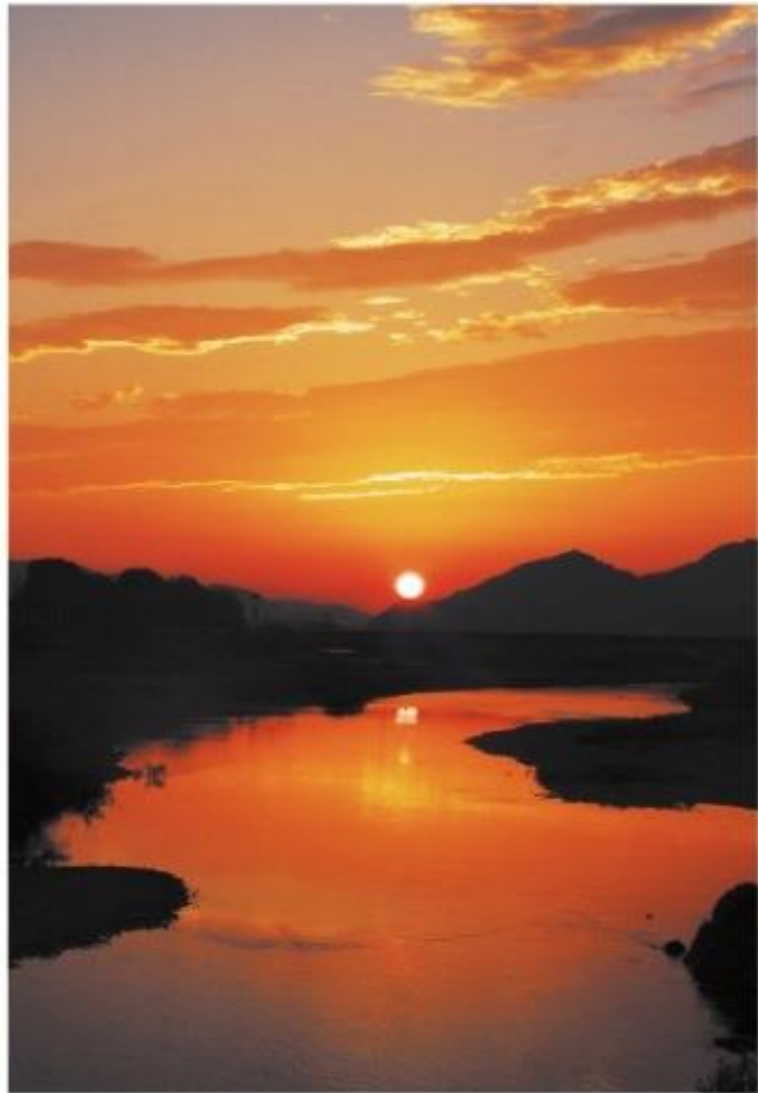
私は、町議会がどこで開かれているのかを知りませんでした。今日、私達の身近な所で行われていることを知り、とても驚きました。この近さなら、授業に関係なく個人で見に来ることもできると思いました。

質問の内容は難しかったですが、例えが分かりやすく、理解できました。下水道の話は、私の家が工事をしたところだったので、興味を持ってました。議員さん達はとても真剣に質問と答弁を繰り返して、私達、町民のことをこんなに熱心に話し合ってくれているのかと思うと感動しました。私達以外の方も傍聴していて、地域住民が参加している様子がよく分かりました。

# 傍聴に お越し ください

平成23年第4回定例会は12月6日開会の予定で、一般質問は12月14日15日に予定されています。議会では、みなさんの生活に直結する問題を協議しています。

ぜひ傍聴にお越し下さい。傍聴にお越しただけないみなさんには吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局各1階のロビーにおいて議会中継をしていますのでご覧下さい。



第4回有田川観光写真コンテスト 特別賞

## 『川面に映る夕焼け』

提供：有田川町観光協会 撮影者：岩崎洲男氏

### 議会広報編集

#### 特別委員会

- 湊 正剛
- 増谷 憲
- 同 省吾
- 殿井 亮
- 新家 弘
- 竹本 和泰
- はりま 隆夫

### 編集後記

9月初め、台風12号の豪雨により死者及び行方不明97名の尊い生命が一瞬にして奪われた。

8月30日から9月5日まで紀伊山地に降った総雨量は、かつて前例のない2439ミリに達した。山間地において大小様々な土砂ダムが発生し、二次災害を心配する中、地域住民は、長期にわたり不安と恐怖の生活を送られている。また、当町の二川ダムの放水に多くの課題と疑問を残したのではないかと。

自然災害は誰もが阻止できない巨大エネルギーであり、命を守る術は安全な場所への早期避難のみである。

自治体の基本指導に基づき、日頃の訓練と自主防衛に徹することを望んで止みません。

(湊 正剛)

お問い合わせ ☎521-2111  
吉備庁舎4階議会事務局まで